

令和6年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 40号

令和7年2月6日(木)発行

校長 関根 崇史

第2回学校評価の結果を受けて～結果及び改善策、学校としての方針等【その2】

Ⅲ キャリア教育

児童：あなたは、自分のめあてや将来の夢、卒業後の進路について、家族と話すことがありますか

・・・65.3%

本校では、「キャリア・パスポート」を活用して、自分自身の特徴を把握したり、将来の生き方を考えさせたりする活動に取り組んできました。「キャリア・パスポート」とは、小学校から高校までのキャリア教育に関する活動について、自分自身の変容や成長を自己評価できるように蓄積していく記録（ポートフォリオ）のことです。キャリア・パスポートの活用は、学校だけで完結する教育活動ではありません。定期的に家庭に戻していきますので、内容を確認していただき、お子さんと話し合う機会をつくってみてください。小学校段階では、子供から将来の夢や卒業後の進路について話すのは難しいので、保護者からきっかけづくりをしていただけるとありがたいです。その中で、保護者だからこそかけられる言葉で子供の考えを認め、励ましてあげることで、自己肯定感や前向きな気持ちが育まれますので、ご協力をお願いします。

Ⅳ 健康な体づくり・学校安全・危機管理

児童：あなたは、感染症や熱中症に気を付けながら、休み時間に運動や外遊びをしていますか

・・・72.3%

学校が最も大切にしなければならないことの一つに「子供の命と、安全安心を守り通すこと」が挙げられます。そのため、学校施設の安全確保、感染症や熱中症等への対応については、十分に配慮をしながら、運動に親しむ機会を保証したり、体力をを向上させる取り組みを行ってきました。どの学年の児童も運動や外遊びが好きなようですが、学年が上がるにつれ、休み時間に外に出る回数が減ってくる傾向があります。運動や外遊びには、体力、運動能力、積極性、コミュニケーション能力の向上など、たくさんの効果があります。引き続き安全確保に努めながら、運動や外遊びを推奨していきます。

第2回学校評価を終えて

第2回学校評価の分析等は以上となります。さらに詳しい結果につきましては、学校 Web ページのトップページから確認をお願いします。

子供たちの教育は、学校だけでなく、学校・家庭・地域社会が、それぞれの役割を分担しながら、連携して行われることが重要です。社会に「開かれた学校」となり、家庭や地域に働きかけを行いながら、ともに子供たちを育てていくという視点に立った学校運営を心がけていきます。そのため、これからも保護者や地域の皆様、学校としての考えや教育活動の現状、子供たちの様子などについて、丁寧に伝えていきます。保護者の皆様におかれましては、学校から配布される通信や配布文書等に必ず目を通していただけますようお願いいたします。また、学校 Web ページは、保護者に限らずどなたでも閲覧可能です。学校の空気感や子供たちの様子が伝わるよう、できるだけ多くの情報を発信してきていますので、すき間時間等を利用してご覧ください。それらを見ていただいた上で、学校に対するご意見等がございましたら、遠慮なく学校長までご連絡してください。保護者や地域の皆様、関係機関からの声に誠実に耳を傾け、一層の連携強化に努めていきます。今後とも、学校教育へのご理解とご協力をお願いします。